

## 2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	津波荷重改定小委員会	主 査 名：壁谷澤 寿一 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：五十田 博 (主査名：森 保宏)
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2026 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築物に作用する津波荷重に関する項目を精査し、2025 年に予定している建築物荷重指針・同解説の次期改定における指針原案を執筆する。</p> <p>初年度：建築物の津波荷重算定に関する改訂項目の整理し、建築物荷重指針・同解説の津波荷重・洪水荷重に関する改定原稿(案)の原案執筆作業を開始する。</p> <p>2 年度：小委員会の改定原稿(案)のブラッシュアップを行い、荷重運営委員会へ提出する。査読意見に対する回答を行い、必要に応じて津波荷重指針案の修正を行う。</p> <p>3 年度：構造本委員会の査読意見に対する回答を含め、必要に応じて津波荷重指針案の修正を行う。改定で確認された研究課題の整理を行い、研究ロードマップを検討する。</p> <p>4 年度：委員は研究ロードマップに則って、津波荷重改定に必要な研究を開始し、関連する研究事例の収集に努める。必要に応じて英文指針の原稿執筆、Q&amp;A 対応、正誤表の作成等を実施する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：壁谷澤寿一 (東京都立大学)</p> <p>幹事：浅井竜也 (東京大学 生産研究所)</p> <p>委員：奥田泰雄 (建築研究所), 長谷部雅伸 (清水建設), 有川太郎 (中央大学), 糸井達哉 (東京大学), 庄司学 (筑波大学), 館野公一 (鹿島建設株式会社), 中埜良昭 (東京大学 生産技術研究所), 西嶋一欽 (京都大学 防災研究所), 濱本卓司 (東京都市大学), 福谷陽 (関東学院大学), 松富英夫 (秋田大学), 小山毅 (東京大学), 高館 祐貴 (建築研究所)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	津波荷重シミュレーション評価 WG 建築分野における津波遡上解析の精度確認と遡上解析において守られるべき共通項目について整理する。	
2023 年度予算	110,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) <small>*能力開発支援事業委員会承認企画</small>	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	今年度は指針改訂(案)を小委員会内で審議を行い、修正を行った能登半島地震の津波被害調査を実施した委員会設置当初に掲げた目的を達成した
委員会活動の問題点・課題	学会員以外の専門家を委員に委嘱する手立てがない